

伊賀市の文化財 15

県指定有形民俗文化財
春日神社雨乞願解大絵馬 附相撲板番付



川東の春日神社の拜殿に13点の大絵馬が掲げられています。小さいもので縦1m、横1.5m、大きいものになると縦1.5m、横2.7mを越すものもあり、迫力のある絵馬です。13点のうち8点に、「雨乞願解」あるいは「雨乞成就願解」の銘があり、雨乞満願御礼として奉納したことが分かります。

伊賀地方は、近世から近代において、しばしば早魃に見舞われたことが知られています。そんな時、人々は雨乞をしました。諏訪では笹ヶ岳の巨岩の上で割り木を燃やしたり、命綱をつけて岩の下を洗ったりしたと聞

きます。また、寺田の南宮山や下友田の雨乞山では焚き木を焚いて雨を願いました。中友生の竜王山では地藏さんにお供えをした後、泥を塗りました。地藏

さんが雨で泥を流してくれると考えていたのです。また、それぞれの村で、氏神様にお祈りしたり、太鼓を打ち鳴らし雨乞踊を行ったりしました。そして、雨が降ったら、願解（願いがかなったお礼）の雨乞踊が行われました。

春日神社の絵馬には、春日神社境内図、西国三十三番札所図、相撲図、鍵屋の辻仇討図、忠臣蔵仇討図、大江山鬼退治図、合戦図、武者図、鹿図があります。年代は延享4（1747）年～昭和14（1939）年にわたっています。

江戸時代の終わり頃には、都市の歌舞伎芝居の地方巡業や地芝居の地方伝播によって、地方の庶民も芝居を見る機会を得て楽しみ喜んだようです。川東・川西の村人は浄財を集めて、自らの喜びとする芝居の場面である武者や物語について、絵師に絵馬を描いてもらった、あるいは描かれた絵馬を購入して、神社に奉納して神様に感謝したと考えられます。

春日神社のご協力を得て、上野歴史民俗資料館で企画展示を開催しています（開催期間は3月26日(日)まで）。近世から近代にかけての大絵馬をぜひご覧ください。

伊賀市の人口・世帯数

(平成17年12月31日現在)

人口	103,246人
(男)	50,139人
(女)	53,107人
世帯数	38,068世帯

発行日 平成18年2月1日
発行 伊賀市
〒518-8501
三重県伊賀市上野丸之内116番地
編集 企画振興部広聴情報課
☎0595-22-9636
伊賀市ホームページ：
<http://www.city.iga.lg.jp/>

ひとが輝く 地域が輝く
～住み良さが実感できる自立と共生のまち～
伊賀市 IGA CITY



～決意を新たに”火の用心”～

新年恒例の消防出初式が、1月8日、上野運動公園競技場で行われました。

今年は、消防団員や消防職員のほか、株式会社INAX上野事業所上野消防団、諏訪婦人消防隊、曙保育園幼年消防クラブの園児も参加し、日ごろの訓練の成果を披露しました。

今年の冬は寒さが厳しく、石油ストーブやファンヒーターなどの暖房器具はなくてはならないものですが、ちょっとした不注意から火災が発生することもあります。また、これからの季節は、強い風が吹き、空気が乾燥して火災が起こりやすくなりますので、火の取り扱いには十分注意しましょう。

(今月の表紙)



この広報紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。